

【多良木町】

校務DX計画

<趣旨>

多良木町では、GIGAスクール構想に基づき、令和2年度からICT環境の整備を進めてきた。しかしながら、教育現場では業務の複雑化や負担増加といった課題が依然として存在しており、効率的な校務運営が求められている。

これらの課題を解決するため、本町では教職員の働き方改革の一環として、校務のデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進し、業務の効率化や負担軽減に向けた具体的な取り組みを進めることとする。

<現状・課題・取組>

（1）業務を支援するクラウドツールを活用した効率化の推進

1人1台端末の導入等に伴い、学校では、校務の情報化とともに校内におけるペーパーレス化を意識しながら、クラウドツールを活用し、職員会議や、学年・学校全体に関する職員同士の情報共有とアンケートを実施している。

教育活動においても、オンライン配信による全校集会や、授業支援システムの活用による授業改善、健康観察における1人1台端末の活用などに取り組んでいる。

また、教育委員会においても、クラウドツールを活用した児童生徒や保護者、教職員へ各種連絡、アンケートの実施・集計、校長会等の会議資料の共有などに取り組んでいる。

（2）FAXの利用・押印の見直し

教育委員会では、FAXでのやり取り・押印の見直しを実施しており、着実にペーパーレス化を推進している。

（3）次世代型校務支援システムの導入

教職員の校務については、平成27年度より校務支援システムを導入しており、各学校における校務の省力化を進めてきたが、システムサーバを自庁に設置するオンプレミス型であるため、今後のシステム更改に合わせて、担当者を配置しクラウド型の次世代校務システムの導入について検討を加速させていく。

（4）不必要な手入力作業の一掃

町教委から各学校へデータで名簿情報を提供することにより、校務支援システムへの名簿情報の不必要な手入力作業の一掃を目指す。

（5）生成AIの活用

「初等教育教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン」（文部科学省及び）教育情報セキュリティポリシーに基づき、適切な生成AIの活用方法の研修を行い、テスト問題や各種文書のたたき台作成等の校務への利活用を進める。